



1) プロモ山を含む5つの活火山を内包するデンガーカルデラは「砂の海」とも呼ばれる。カルデラの断崖は高さ200~600mあり断崖のすぐ近くに村がある。この周辺の人々はデンガー人と呼ばれマジャパヒト王国の末裔と主張している。2) プロモ山頂に祀られた供え物。3) イジェン高原で採掘される硫黄の塊は硫黄ガスをパイプで凝縮させ液状から冷やして固化させる。4) 硫黄を運ぶ人夫は70~90kgを一度に運ぶ。1日に2往復し取引業者に売り渡す。1日の稼ぎはUS\$13程度。5) イジェン火口湖畔のブルーファイアー。6) 硫黄ガスが自然発火して青い炎を生じる。炎は高さ5mにもな



るといふ。7) プロモ山観光では砂の海で乗馬体験もできる。8) イジェン外輪山 9) プロモ外輪山 10) イジェン火口湖は幅約1kmのターコイズ色をしており、世界最大の高酸性火口湖として知られる。11) プロモ山のパノラマ。ヒンズー層に従って定期的にYadnya Kasadaと呼ばれる儀式が執り行われている。儀式の起源は15世紀に遡る。マジャパヒト王国の末裔貴族である子供宝に恵まれない夫婦がいた。山の神に子供を持てるよう祈願したところ、24名の子供を授かった。そこで山の神は25人目を生贄として捧げるよう要求した。それ以降プロモの山の神に対してYadnya Kasadaの儀式が行われるようになったという。

秘境！東ジャワの山岳パノラマ 神秘の青い炎

[インドネシア・ジャワ島]

スラバヤまで直行便で約2時間20分



奇跡の山岳パノラマ 東部ジャワの奇景

ジャワ東部の火山が作り出した奇跡のパノラマと自然現象を体験する2泊3日の冒険の旅。

スラバヤ空港から車で約3時間。プロモ山はインドネシアでも随一といわれる景勝地として国内旅行先としても知名度が高い場所。

太古の昔にできたデンガーカルデラ（面積は足立区に匹敵し通称「砂の海」と呼ばれる。）の中にあるプロモ山、バトゥ山、そしてその南に位置するジャワ最高峰のスル山（3676m）が織りなすダイナミックなパノラマを夜明け前、ジープでビューポイントまで移動し早朝の雲が少ない時間帯を狙って見学します。

その後、ジープで砂の海に入りプロモ山を登頂。噴火活動が活発な場合は砂の海が立ち入り禁止になることもあります。

朝食後、ジャワ東端のイジェン高原へ。のどかな海岸道路をイジェンへ向けて移動します。

イジェン火口湖へのトレッキングは登山口の1850mから火山湖のカルデラ2386mまでの約500mを上ります。

イジェン火口湖は良質の硫黄を産し地元の人夫が人力で硫黄を運んでいます。ブルーファイアーは硫黄採掘の裂け目から出る硫黄ガスが自然発火したもので、600度の高温で燃えると言われます。日が昇る前までに外輪山に到達すればブルーファイアーが見られるかもしれません。エメラルドグリーンのイジェン火口湖も自然の作り出す不思議な風景です。